



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル及びオンライン
会長 富田 洋平 幹事 石原 忠始
事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F
TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271 <http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2021-22年度 国際ロータリーテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

例会報告 第825回 2021年11月1日(月) ハイブリッド例会

出席率 50.00% 出席と接続会員数26名+メンバー0名
(正会員58名-休会6名)

開会説明(司会担当大盛敬子SAA委員)

皆様 ハイブリッド例会を開催させていただきます。
なお、本日の例会の様子は当クラブの週報用の記録としてビデオ録画の予定です。参加者の皆様は、個人情報について許諾を予めよろしくお願い致します。

富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは!

昨日は投票に行かれたのでしょうか? 政治の話はしませんが、日本はこれで落ち着いたのでしょうか。また新しい時代に突入していくと思いますが、10月11月はすごく気候がいいと思います。クラブの運営も段々加速できるんじゃないかと思っています。今日はローターアクトのメンバーも来ていただいています。いろいろ考えて実行していく月になりそうだなと思っています。

それでは第825回例会を開催致します。

ロータリーソング

「君が代」



バナー交換(船橋西RC 島田修副幹事)

皆さんこんにちは!

船橋西RCから来ました島田と申します。よろしくお願いいたします。

私は入会したばかりですが、もう副幹事を拝命いたしまして、来年7月から幹事をやってくれということでどんなことかと今期副幹事をやらせてもらっていますが、今後共宜しくお願い致します。



卓話者・お客様発表(鈴木隆志SAA委員)

ハイブリッド例会によくぞいらっしゃいました。

本日のお客様は7名です。

- ・東京あけぼのRC 南條勉 様(オンライン参加)
- ・船橋西RC副幹事 島田修 様
- ・東京セントラルRAC会長 土田裕貴 様

- ・中央大学RAC会長 原瑞果 様
- 同幹事 下山晴子 様
- 同直前会長 有路幹太 様
- ・当クラブ休会中 江蘇萍(コウ スーピン) 様

11月のハッピーバースデー

岡田敏江会員(6日生れ)
石川和子会員(11日生れ)
海渡千佳会員(4日生れ)
中里妃沙子会員(4日生れ)
小林真由美会員(12日生れ)
清宮普美代会員(19日生れ)
城麻里奈会員(21日生れ)
富田洋平会長(23日生れ)



ローターアクト挨拶

(中央大学RAC会長 原瑞果様)

私は高校生の頃からインターアクトクラブに所属して、国際青少年交換プログラムに参加して台湾に派遣していただきました。現在RACとして活動しております。

前年までは15, 6人で活動していましたが、今年度は新しく1, 2年生が50人位入っていただき現在76名の大人数で活動している状態です。RACとして貴クラブと共同でできる活動があれば喜んで参加させていただきますので、お声掛けお願い致します。

(同幹事 下山晴子様)

今年も国際奉仕としてタイの子どもたちへの支援を3年目として実施予定です。バンコクから四駆車で道なき道を揺られ続けて8時間、ぬかるむと12時間かかる学校で支援します。その活動資金のために、クラウドファンディングを11月中旬から100万円のオールオアナッシング方式で行います。よろしくお願いいたします。

(東京セントラルRAC会長 土田裕貴様)

元々中央大学RACで4年間活動しましたが、その先どういう風に活動していこうかと話して、中央大学RACの子クラブとして東京セントラルRACを作らせていただき今回会長を務めることになりました。

今4年ですが、今後社会人になってからも継続的に奉仕活動や交流を維持できるように頑張っていきたいと思っています。



✳️ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- 20周年行事が来年4月に延期されましたので、11月8日(月)は通常例会を予定通り行います。
- 11月5日(金)は画廊巡りがありますので、参加予定の会員はよろしく願いいたします。
- 本日この後理事会を行いますので、理事の方は残っていただくようお願いいたします。

✳️ ローターアクト報告 (高橋肇青少年等担当奉仕委員長)

11月9日(火)の19時から20時に中央大学ローターアクトとの交流会を調布市教育会館で行います。Zoom参加も可能ですのでよろしくお願いします。当クラブの太田会員がスピーカーを務めますので、応援団としての参加を是非お願い致します。

✳️ ファイヤーサイド報告 (圓井順子親睦委員)

富田年度で初めてのファイヤーサイドを今月開催いたします。感染対策をした会員の店舗5ヵ所(穂の花、ハミルトン、エスコフィエ、はる、せいとう)で、各店舗4,5名で11月25日(木)18時からの開催を予定しています。各店舗の予算など詳細は追ってご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

✳️ 座談会「富田の部屋」(司会 富田洋平会長)

(参加者:時枝会員、小堀会員、宮下会員)
(富田会長)

- 今期も7月から10月まで4ヵ月過ぎましたが、なかなかリアル例会ができず皆さんとの交流もままならなかった訳ですが、さらに困ったことがありました。

クラブ会員が60人を超えて20年選手から1年選手まで在籍し、なかなかお互いのことを深く知ることができない状況でした。いつもなら新入会員歓迎会、ファイヤーサイド、親睦旅行などや同好会活動で親しくなれたのですが、これができなくなりました。

そこで例会の中でその人のことを深く知る機会や話し掛ける機会をこちらから作っちゃえばいいんじゃないかと考え、富田の部屋の開催となりました。

記念すべき第1回は、チャーターメンバーのお三方においでいただきました。

これからお三方のことを丸裸にしていくわけですが、視聴者である皆さんが、あっこれは共感できるなとか、それ私と一緒にじゃん、そういうことがあったら入会年次を問わず是非このお三方に話しかけてあげてください。

まず、私から3人を簡単にご紹介します。

- まず、宮下文夫さん。当クラブのチャーターメンバーです。ご家族は愛する奥様と黒のラブラドルレトリバーRullyの三人家族です。ご職業は商事弁護士、西新橋法律会計事務所所長でいらっしゃいます。仕事内容は会社関係の経営紛争から交通事故、離婚、相続に至る民事家事何でもござれの街の弁

護士先生です。信条は全力投球、本人曰く疑問を持ったら止まらないとのことで、理事の皆さんも理事会で宮下さんに噛みつかれて大変な思いをされた方もいらっしゃるんじゃないかなと思います。冗談ですよ。そのエピソードとして、「日本になぜ革命が起きないか」どうしても知りたくなり、大学入学後3年間の世界放浪を決行、キューバに行ってチェ・ゲバラの考えに出会い、各国で様々な思想に触れ、3年の放浪の末インドに漂着し、「日本には革命は必要ないからだ」という解を自身の中に見つけ出すという凄い経験から得た信条の下今日に至っております。ちなみに、大学入学後、火炎瓶を投げる学生運動にも模範的に参加したところから何度もパトカーに拘束され、中からは絶対に開けられない筈のパトカーからその都度逃走をし続けたという輝かしい経験の持ち主でもあります。ご本人談ですが「火炎瓶は素人は縦に持って投げるが玄人は横に持って投げる」らしく勿論本人は横派でした。

こんな生活で大学は除籍です。その後人生を見つめる3年間の世界放浪をして、そこで「思い通りに生きてみよう」と考えを変え、大学に復学後司法試験に挑戦、合格し、立派に活躍し、現在困ったときの宮下という有能な弁護士先生でいらっしゃいます。

ちなみに趣味は旅行、あとは狩猟・鉄砲ですね。あとゴルフです。ハンディ12です。好きな言葉は、「本日天気晴朗なれど波高し」、日本海海戦へ海軍出撃の際の秋山真之参謀のお言葉です。勝てるという確信をもてる準備をして戦えという意味ですが、何とも弁護士先生らしいお言葉ですね。本日はよろしくお願いいたします。

- 続きまして時枝紀子さん、当クラブ第10代の会長でございます。同じくチャーターメンバー、ご家族はご主人、長男、次男、長女の5人家族です。長男の奥様はロータリークラブではすっかり有名な音楽家です。お仕事はオフィスビル、不動産の賃貸管理業をしている株式会社徳井の代表取締役を務めていらっしゃいます。実は「徳井」の前身は、徳井商店といい、その昔お侍さんのちょんまげを結うときに使った鬘付油を作っていらっしゃったそうです。そしてその名前の由来がすごいです。昔々の東京の話、現在の青山あたりでお殿様が釣りをしていたのですが、それを終えた後、お殿様は現在の飯倉あたりを通過して江戸城にお帰りになっていたとか。その折なぜか徳井商店の前で一服し、「この水はうまいな」と言って水を飲んでいたらいいんですね。この水はうまいとお殿様はこの場所が気に入って、終いには徳川の徳の字をあげようということになり、ご先祖様に徳の字を与えたことから後世まで徳井と名乗ることになり、ご繁栄いただいたという由緒正しい社名でございます。

江戸末期から数えて現在6代目でございます。信



条にしていることは好奇心と発想の変化、ここはどうか年齢を逆算しないで考えていただきたいのですが、約50年前の高校時代、慶應高校でハワイ留学プログラムの一員にノミネートされ、海外で見聞を広めた経験があります。1ドル360円の時代です。このメンバーとの経験があまりにも強烈で、その後の人生を大きく変えるインパクトがあったことはいまでもないところ、当時の高校生時代から50年のお付き合いですから、このときのメンバーは各業界で大活躍、強い結束とのこと。時枝さんは、学生時代にはインパクトのある経験をさせてもらえることがどれほど素晴らしいことなのかを身に沁みて感じているので、ロータリーにおいても青少年プログラムや育成園の奉仕活動にはいつも力が入ってしまうとのこと。大切にしているものは感動できる経験、あえて3つ挙げると、比叡山の千日回峰行ならぬ一日回峰行体験、志賀高原で見たダイヤモンドダスト、ロータリークラブ青少年交換プログラム委員時代、多感で繊細な16歳の女の子が広島を見学に赴きそこで何かを感じ見つめ直し、皆に心を開き出し帰国時に千羽鶴を地区にプレゼントしてくれたこと、ここから自分の姿をだぶらせ、青少年が若いころに琴線に触れる経験をする、よいものやいい景色を見ることが大事だと、この3つの経験を大事にしているとのこと。趣味は健康のために始めた、わざと120回打つゴルフ、特技は水の上で足を垂直に上げること。ちなみに年齢を逆算しないで考えていただきたいのですが50年前の高校時代シンクロナイズドスイミング部所属でチーム団体で全国6位の実績を持つ強豪でした。プチ自慢としては自分は大したことないんだけど友達が多方面で大活躍する凄腕が多いこと、男女を問わずよい人と何かご縁が出来ることです。私から見ると、時枝さんも十分凄いですよね。

- 最後に小堀彰さん。実のお母さま曰く、本当の名前は彰ではなく当初太郎にする予定だったそうです。太郎だったら間違いなくぐれていたとご本人は言っております。いいですか、皆さん、「小堀太郎」、可愛くないですか？ 当クラブ第9代会長です。同じくチャーターメンバーです。ご家族は9歳年下の奥様に、ご長女・ご長男の4人家族です。お仕事は皆さんもロータリーの名刺でお世話になっている印刷業・デザイン業、最近は販促プロモーション業を手掛ける

株式会社昌文社の代表取締役を務められています。

実はここだけの話、新規プロジェクト販促費を大幅に引き下げるリバースマグという方法を開発し、各業界から注目を集めています。ぶっちゃけ波に乗りつつあります。信条にしていることは緩急を付けて楽しむことです。つまり迷惑をかけないようにさぼることです。小堀さんらしい。楽しむことを念頭に置いてここまで生きてきたわけですから、はっきり言って人気者です。それ故お祝い事の司会、余興、乾杯、入学式、卒業式には引っ張りだこの状態でございます。この先はお葬式にもたくさん呼ばれる可能性があります。ちなみに少し前ですが、日本青年会議所JT時代白金の八芳園にてバニーの姿で登場とのこと、シロガネーゼを中心として気品のある多くの淑女の視線を独り占めにしたとのこと。しかし決して実の子には見せられないとのこと。好きな言葉は優しさと忍耐。一度信頼した人は、自分からは決して切らない。違うなと思っても、指摘はするけど怒らない。謝られれば許すことにしているとのこと。そんな小堀さんですから、大切にしているものはと聞いたら、「ものはない」と、第一に大切なのは家族、そして友人だ、人だということです。小学4年になるお嬢さんは、野球では杉並選抜、小学1年になる息子もお姉ちゃんに負けじと少年野球のチームに入団、運動神経のよさを感じずにはいられません。それもそのはず、小堀さんご出身である福井県美方高校2年時に部活であるボートで福井県選抜で国体に出場しており、高校3年時にはインターハイで優勝、日本一です。という何とも輝かしい経験の持ち主です。ちなみに一緒にボートに乗っていたメンバーは、後に、ソウル・ロスオリンピックに出場しており、ガチでボートに打ち込んでいたことが推察されます。そしてこの栄光を引っ提げて、名門早稲田大学教育学部に入学後、学業に励み小学校教諭の免許を取得し、小学生の先生として社会人をスタートさせたという知られざる過去を持つのですが、順風満帆にみえた教員生活もオルガンの演奏に躓き、悩み、結果1年で教員生活に幕を下ろすに至りました。しかし、持ち前の明るさと面白さで、次の仕事では地元の水産加工会社に就職し、最年少役員に上り詰め、そして上京し、現在に至ったということです。趣味と特技は一緒です。カラオケです。特に五木ひろし、山本リンダ、天童よしみは、歌って競っても負ける気がしないとのこと。

ということで、お三方、本日はどうぞよろしく願いたします。

【自己紹介】 (時枝会員)

今、過分なご紹介に与りました時枝でございます。チャーターメンバーということで、私がこのクラブに入っ

た理由は、丁度同じような時期に麻布法人会というところに入っておりまして、そこで女性部会を作ることがあり、いろいろ活動しておりまして、そんな関係で法人会の関係の中央RCの会員の方からお声がかかりまして、中央新RCに入らせていただいたという経緯がございます。

(小堀会員)

小堀でございます。富田会長ありがとうございます。一つ違ったのは、バニーをやったのはJCではなくて法人会の団体の方です。JCの方に叱られてしまいますので、よろしくお願いいたします。

私ももう20年経ちまして、楽しくやらせていただいています。今日はよろしくお願いいたします。

(宮下会員)

宮下です。よろしくおねがいします。一つだけ順番が違ったのがゲバラにあこがれたからキューバに行ったのでキューバに行って知ったのではありませんので、よろしくお願いいたします。その他とてもその通りです。間違いありませんのでよろしくお願いいたします。

【20年前、なぜ、どこの馬の骨とも知れないこの中央新RCに入会しようと思ったのか？

そして入会してみてどうだったのか？ 教えていただきたいと思います。】

(宮下会員)

そうですね。仕事の付き合いがあった親クラブの金子さんという方がいて、「やってみない？」と言われて、半信半疑で、暇じゃなかったんですけど「じゃ、やりましょうか」ということで入会に至りました。

入会して、ほとんど皆何もわかっていなくて、私の印象ですが本橋御前会議というのがあって、本橋さんが来て「お一行くぞ」というと、皆ぞろぞろついていって、次の人事とかいろいろ何かが決まるというようなこともありました。

(小堀会員)

私も実は親クラブの、もう亡くなられた金子真之さんの紹介で、仕事関係で付き合いがありまして、「おい、小堀どうしてる?」、「面白いのがあるんだ。ロータリークラブって聞いたことあるか?」「聞いたことはあるけど敷居が高そうですね」「今度紹介しておくから来いよ」と初めて参加したのが始まりでした。

(時枝会員)

やはり時代的にも女性が社会の中へ出ていける時代になったということもありました。割と前向きに参加させていただきました。当初私の中では、ロータリークラブはイメージとして、「とんでもない、私がロータリークラブなんか入れる場所ではない」と何回か辞退していたんですが、「一応履歴書だけでも出すように」とここにいらっしゃる岡田さんからも声を掛けられまして、その履歴書を出したことがきっかけとなりまして、入会

になりました。当初は本橋特別代表が、集まった私たちの顔を見て「うーむ、玉石混淆だな」とおっしゃって、私は「はい、私は石の筆頭でございます」とご挨拶いたしました。本当にいろんな個性的な方が多く集まっていたらっしゃいました。

【設立1年目から3年目はよちよち歩きの状況ですが、この時はどんな状況だったのか教えてもらっていいですか?】

(宮下会員)

やっぱりいろいろわからないことばかりでよく議論があったのですが、今みたいに皆大人で穏やかな人ばかりじゃないので、人の話は全く聞かず、人が提案すると横車を押すとか、そういう角の多い強気の女性が多くて、大変な会だなと思っているうちにそういう人たちが次々に去って、3、4年から5年



位したら穏やかな時枝さん・石川さんなどの現在の幹部が残ったということで、おめでとうございます。

(小堀会員)

私が36歳で最年少で入ったわけですが、私の親くらいの女性の方が中心で、やはりちょっと怖かったな。「ちょっとこっちおいでよ」「あーあれとってきてくれない」と言う形で、一部小間使いのようなこともさせられて、若輩者だから仕方ないと思っていました。丁度チャーターナイトの頃、何も知らないで、親クラブ中央RCの海老原さんが私らの指導に来て、とにかく「お客さんを集めないとならない」と、皆で手分けしてやろうということで、私と女性の安藤さんと2人で新橋ロータリークラブの第一ホテルへ行きました、180人位の前で初めてこんな人数の前で喋ったことないなと思いながら「チャーターナイトにお越しく下さい」と挨拶をおろおろしながらなんとかこなしした記憶が今でも忘れられません。

(時枝会員)

なにしろ私も結構角張ってました。ほんとうに未熟で、ほんとうに後になって考えるとつくづく思うことがあって、ロータリーにいらしていただいたおかげで、大分角が取れてきたのかなと思いますが、まだ修業の最中でございます。

【初期の頃びっくりしたこと】

(宮下会員)

ロータリーは式典が好きなところで、5年、10年、15年とやるんですが、だいたい似たり寄ったりだから内容はほとんど忘れましたが、ともかく5周年は石川さんが責任者であごで「あなた、これやってきて」と言われてやっているうちに当日がものすごい雨でなんでこんなに降るのというぐらい降って、スーツがびしょ濡れになってほんとにとんでもない日だなと思いました。理

事会の話は今日は抑えておいた方がいいでしょうね。

(小堀会員)

私はアルコールが大好きで、最近はコロナの関係であまりないですが宮下さんも言っていたようにたしかにロータリーは式典が好きで、最初の式典は堅いのでその時は本当に胃が痛くなるなという感じです。ずっと我慢して、そこから後の懇親会がはじけるほうで、そのあとに二次会、三次会とこれがもう楽しくてしょうがなかったなというのを記憶しています。いろんな人を誘って、そこで自分の立ち位置を見つけてきたと思います。例会だけでは人と人との交流が深まらないというのがあってやっぱり個別に二次会三次会と人が減ってくるので10人いたのが最後2人、3人になってそうすると今困ってる悩みとか、あーだこーだといろんな話を聞いた年上のロータリーの退会された方とか、女性の方とか悩みを聞いて目の前で泣かれてどうしようかということもありました。

(時枝会員)

やはりその当時は自分の意見をしっかり持っている女性ばかりの集まりでしたので、理事会が結構すごかったんです。

私も理事ではいたんですけれども、まだ端で目を白黒させて、皆さんのおっしゃることをおとなしく聞いていたんですけれども、まあ本当に男性会長に向けて女性の幹事が叱咤激励するようなことを投げかけたり、非常にパワフルな女性が多かったんです。どんな言葉で激励したかはちょっと控えておきます。

【正直やめようかなと思ったことありますか?】

(宮下会員)

やめようと思ったことはないですね。なぜかという、私はゴルフが好きなので、ロータリーはゴルフ多いんですよ。クラブでもゴルフの会を我々が作ったし、地区の予選会を年1回やってたり、JGFR(全国ロータリアンゴルフ会)みたいのも年に何回かあって、ゴルフをやっているうちになんとかさぎちゃった感じで、時々奉仕もちろん協力しましたが。そういうことでした。

(小堀会員)

やめようか考えたことも少しありました。2009年エレクトになりましたが、そのタイミングで何も問題ないだろうと思って前任の藤田さんからのご指名で引受けていたのですが、なったらまもなく取引先の上位5社のうち3社が傾いておかしくなって、いきなり半年で売上が40%減って、丁度その時再婚の結婚式を控えてまして、会長エレクトこれどうするか、引受けちゃったし逃げられないし、やめた方がいいのか、会社の建て直しと並行してやりましたが、それが一番人生の中でも辛かったかなと思います。投げ出すことはできるんですが、どっちみち会社がおかしくなったらしょうがないし、ただロータリーの会長なんてめったにできるものでもないし、どうしてもだめだったら会長になってもやめざるを

えないのでやれるうちはやっていこうということでそのまま継続したわけです。それでも結構頭の切り換えが早い方でして、大いに楽しんでいましたが、あの当時ガバナー公式訪問のときに帝国の部屋で3クラブ入ってまして、300人の前で最初の挨拶を私がやったんですが、本当にそれどころじゃない、何を喋ろうかという以前に会社のことが心配で、それがあったからこそ従来の印刷から会社の方向を変えていって現在になんとか至ったということもあります。

(時枝会員)

いろんなことをやらせていただいたし、いろいろな経験をさせていただいたんですけれども、ある段階でこれで区切りをつけてもいいかなと思ったときも正直言って何回かありました。2011年3月11日に丁度会長をやっておりまして、本当にあのときは何かしなくてはいけないんじゃないかとの気持ちが湧いて個人じゃ動けないですから、みんなの大きな力で一丸となってやるしかない、これが大きなロータリアンとしての転換点になりました。

【5周年、10周年のころについて】

(時枝会員)

この年は平本さんが会長で、私が幹事をやっております。司会をやった記憶がございます。平本会長はすごく華やかな方で、素晴らしいしつらえの優雅な空間で、「あー、ロータリーってこういうところなんだ」とあらためて感じたことを覚えています。

10周年は藤田さんという会長もなさった方が三味線と日本舞踊を、長坂さんがシャンソンを披露して下さって、素晴らしい舞台を見せていただきまして、うちのメンバーだけで完結してやったことが女性パワーを表現できたかなとの記憶がございます。

15周年は、私が特に準備に関わった記憶はないのですが、「うみやまあひだ」というドキュメンタリー映画のチャリティ上映会を企画し、うみやまもその間の世も全部循環しているんだというテーマの素晴らしい映画でした。

映画を作った方も若い方たちでしたが、そういう方たちを支援できたこともありやりたいと思ったことを実現できたかなと思います。

(小堀会員)

5周年のときは、懇親会で、甘糟さんとふたりで司会をした記憶があります。10周年、15周年はクラブの人たち皆で協力し合って、皆で作りに出すのが面白い。過去はいろんな方を呼んだり、歌手を呼んだりもあったかもしれませんが。しかし素晴らしいメンバーがいるので、クラブの中で盛上げていきたい。過去にもありました「ギリギリガールズ」。これは最高だと思います。やっぱり本当にこのクラブのすべてを象徴しているんじゃないかと思いますので、ここを盛り上げて是非我々男性メンバーは下僕となって盛上げていきたいなと

思います。

【ロータリークラブって何をするとところですか？】

(小堀会員)

まず、友を作るというところですね。2つ目には一人ではできない皆で社会に貢献するいわゆる奉仕というものを実現していきたい。最後に自分が誰でも1回は死ぬんだから、死ぬときに、「あー、俺最後なにやってたっけなあ。あーロータリーも入ってたなー」ということがずっと思えるようになればなおさらいいなと思います。

(時枝会員)

ロータリーはよく「I serve」ということを言うんですが、自分なりの意見を持つということが基本にあると思うんですが、皆といっしょに活動する凄さとかそういうものを是非是非楽しみたいし、これからも皆さんも、そういうことを実感してロータリアン生活を楽しんでいただきたいと思います。

(宮下会員)

奉仕、親睦を通して自身の根底にあるレベルをあげると私が言ったらいいですね。

【最後に一言、これからのクラブについて】

(宮下会員)

平凡なことを左右を見てやっていってもしようがないと思うので、今まで一度も見たことも聞いたこともないような新しい奉仕活動を皆さんで作りに出してほしいなと思っています。

(小堀会員)

親睦を続けながら定着すること、当クラブにしかできない、～と言えば、あっ、東京中央新だ、それ東京中央新のニュースじゃないのと全国で響き渡るようなクラブになればなおさらいいという風に願っております。

(時枝会員)

ロータリークラブは100周年を迎えています。特に日本の場合は100年という先輩方が作り上げて下さったブランドがございますので、そういったものに対する敬意というものを忘れないでその上で挑戦して楽しんでいただいて新しいものを作り上げていただければいいなと思っております。

(富田会長)

皆様いかがでしたか？ これ一人一人聞いていくとかなりたくさん出てくるんですよ。これで3分の1なんです。この中で皆さんに伝えたかったことを今日お話しただいたのですが、こうやって一人一人のことって、コミュニケーションを通じてじゃないとわからないことですから、親睦もすごく大事だなと思います。皆さんがどういう風になっていってほしいかという点については、お三方とも共通なことをおっしゃってますよね。個性も出し

て、皆で協力して作っていききたいですし、継続することでもすごく大事じゃないかなと思いますので、これからも親睦と奉仕に磨きをかけて頑張っていきたいなと思っております。

第1回目の放送、チャーターメンバーの宮下さん、小堀さん、時枝さんでございました。

ありがとうございました。次回は12月6日(月)、ゲストは岡田さん、白水さん、井出さんにお越しいただきます。富田の部屋ありがとうございました。

(要約文責 宮下)



富田 洋平 会長	本日より11月、穏やかなこの状況が続き、年内沢山の交流が出来ることを願ってニコニコします。
太田 一彦 会員	11月になりました。今日も対面例会に出席出来てうれしいです。
大盛 敬子 会員	11月は雨が多いので傘の出番です。忘れないようにニコニコします。
江 蘇萍 会員	皆様のお元気なカオ見てニコニコ
城 麻里奈 会員	お誕生日のお祝いをありがとうございます。嬉しくてニコニコします。感謝
高橋 肇 会員	久しぶりの対面例会参加で嬉しいのでニコニコします。
田中 結加 会員	本日、千葉県船橋西ロータリークラブの島田さんご参加下さいましたのでニコニコします。
野呂 洋子 会員	昨日、ビーチハンドボールの大会運営で愛知県に行ってきました。とっても楽しそうで私も参加したかったです!!
水野 珠貴 会員	初のニコニコ発表でニコニコします!

にここ合計 19,800 円

例会報告 第826回 2021年11月8日(月) ハイブリッド例会

出席率 57.69% 出席と接続会員数30名+メンバー0名
(正会員58名-休会6名)

🎖️ 開始 (大盛敬子 SAA 委員司会担当)

皆様 ハイブリッド例会を開催させていただきます。

なお、本日の例会の様子は当クラブの週報用の記録としてビデオ録画をさせていただく予定ですので、参加者の皆様におかれましては、個人情報への許諾を予めよろしくお願い致します。

🎖️ 富田洋平会長 点鐘挨拶

皆様こんにちは！

秋晴れの日となりました。嬉しいことがあったので報告します。こちらにオンラインチームがいらっしゃるんですが、福元さんと山田さんの2人で4月からやっていたら、このチームの負担を少しでも少なくしたいということで、鈴木さん・矢部さんに入ってもらって快く引き受けていただいて本当にありがとうございました。当たり前と思うオンラインですが、実は2人の力でずっと運営されていたのですが、少しでもスムーズにということで、今回新しい2人に入ってもらいました。新しいお二人がSAAから来られるので、今度SAAが手薄になりますのでお手伝い下さいということで、沢山の会員が立って下さいまして、私が8年前に入会した時と同じレイアウトだと思いますが、長い途を歩いてくるとSAAの方がいっぱい立っていて、活気あるエントランスになっているなと思っていました。非常にうれしい感覚を覚えました。これからも協力体制で、例会の運営を続けていってほしいと思います。

それでは826回の例会を始めます。

🎖️ ロータリーソング

「奉仕の理想」

🎖️ ゲスト発表 (安原良昭 SAA 委員長)

ハイブリッド例会にようこそおいで下さいました。

本日のお客様は、7名です。

- ・第2770地区・蓮田RC 栗原 均 様
- ・東京北RC 松本 謙一 様
- ・東京銀座RC 野澤 亨 様
- ・井関会員ゲスト 永田 ジョージ 様
- ・田中会員ゲスト 渡邊 幸恵 様
- ・入会希望(水野会員ご紹介) 杉原 由佳子 様
- ・当クラブ会員(休会中) 江 蘇萍 様

🎖️ お知らせ報告 (富田洋平会長)

先日のトレインジャックプロジェクトについて、ロータリーの熊谷さんからお手紙が届いています。

「先日トレインジャックプロジェクトで写真撮影をさせていただきました。雑誌『ロータリーの友』編集部が思いがけず皆さんの集合写真を撮ることになりました。枠を付けて焼き付けてみましたので、皆さんで鑑賞して下さい。」

とのことです。これはたぶん『ロータリーの友』に載ると思うんですね。明山会員も大きく取り上げられていて世界へ出ていくんじゃないかという感じです。一つ一つやっていることが実を結んで嬉しく思います。

もう一つ、明日中央大ローターアクトの例会が行われます。大学生が社会に出ていくうえで、社会で活躍している人のお話を聞きたいということで、明日当クラブから太田会員が講師として登壇されます。応援に行きたい方は明日18時から調布で例会が行われます。詳しくは、事務局にお問合せいただければと思います。

🎖️ バナー交換 (2770地区蓮田RC 栗原均 様)

水野珠貴さんと宝塚歌劇を通じて知り合いまして、いいクラブの会員増強をよく見ておりました。どれだけのいいのか、今日はその入れる極意を教わりにお邪魔させていただきました。よろしくお願いいたします。



🎖️ 親睦委員会報告 (西村美寿穂委員長)

- ・小沼会員のワークショップ(和紙行燈作り)はおかげさまで満員御礼となりまして、又、次回を企画したいと思います。
- ・11月25日(木)のファイヤーサイドミーティングを開催いたします。ブロック開催として複数店舗に4、5名ずつ集まる形とオンライン参加の方もいらっしゃいます。

本日例会終了後に、参加意思確認メールを送信しますので、ご返信お願い致します。

- ・クリスマス夜間例会は、賛成の会員が多く、12月20日(月)18時00分開催の予定で準備しています。場所は未定ですが、是非予定の確保をお願い致します。

🎖️ 画廊巡り報告 (野呂洋子会員、水野珠貴会員)

(野呂洋子会員)

本年度16回目となる泰明小学校画廊巡りは、無事に終了させて頂きました。ボランティアの方は本年度少なかったのですが、ローターアクトが協力して下さいまして、ありがたく思っております。又、当クラブ会員のみならず、まだ参加したことのないという方は、是非来年度ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。



(水野珠貴会員)

入会して初めて画廊巡りに参加させて頂きました。これぞ地域貢献と思いました。子どもたちが生き生きと普段は入れないような画廊を訪問して説明を受けて、子どもたちそっちのけで私たちが説明を受けたりもしましたが、本当に貴重な体験ですね。この企画が出来るのも銀座ならではのことで、これはずっと続けていくべきだと強く思い、本当にいい経験でした。ありがとうございました。

✦ 幹事報告 (石原忠始幹事)

- ・夜間例会とファイヤーサイドのことは、親睦委員の方から報告済です。
 - ・先週の理事会の結果は、メールでご報告した通りです。
 - ・本日は例会は予定されておりましたが、明日11月9日(火)に予定されていた20周年行事がコロナの関係で来年4月に延期された関係で、本日は従来どおり例会を開くことになりました。
 - ・ハイブリッド例会については今年いっぱいはいは続け、その後は様子を見て検討することが理事会で決まりました。
- 以上です。

✦ ワークショップ報告 (小沼百合子会員)

皆様こんにちは! 私のつたない和紙のワークショップをさせていただくことになりました。ご協力頂いた皆様方にお礼申し上げます。今日の午後2時から西村会員のオフィスの方で会場をお借りして、和紙の手作り行燈を作りたいと思っております。楽しいひとときを過ごせたらいいなと思っておりますので、出来上がりましたら皆様にご報告差し上げるようになるかと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。



「キャスターがスイーツショップを 起業した理由」

桑原りさ (くわはらりさ) 様



【卓話者プロフィール】

フリーキャスター、Sweets Oblige by Asa & Lisa代表。コロンビア大学国際関係大学院卒業後、NHK総合「海外ネットワーク」キャスター、東洋経済オンライン執筆など、国際・社会課題などを中心に取材発信。2012年に寄付連動型のヴィーガンスイーツショップ“カラダが喜ぶ、世界が喜ぶスイーツ”Sweets Oblige by Asa & Lisaを起業。

【ご紹介】(富田洋平会長)

今休会中の幸村会員のお知り合いということでご紹介いただいたのですが、実は私の共通の知り合いもいて、数回お食事をご一緒させていただいて親交を深めさせていただいた関係です。見るからにバリバリのジャーナリストである一方、笑ったり泣いたり共感したり感情表現も非常に豊かな淑女でございます。ご自身の様々な経験から今のお仕事に辿り着いたということなのですが、受けたものを社会に還元するというあり方で仕事をしていることで我々ロータリアンの在り方と共通しているなと思って、今回卓話をお願いすることになりました。皆さん拍手でお迎えください。

- ・皆さんこんにちは!

本日は素敵な会にお招きいただきありがとうございます。ロータリーは女性禁止と聞く中で、こんなエネルギーに溢れる女性たちに囲まれて本当にうれしく思います。

どうぞよろしくお願い致します。

- ・私はこれまでずっとメディアの世界で生きておりまして、成城大学コミュニケーション学科を卒業してNHKの英会話の番組とか化学の番組の司会をやったり、リポーターをやったりとか、ずっとメディアの世界で伝える仕事をしてきました。

20代後半でアメリカに留学して戻ってきて、そこからは報道番組のキャスター、経済番組のキャスターだったり、NHKの国際ニュース専門のキャスターをやっておりまして、そこからあることがきっかけで目覚めてスイーツショップを始めることになるんですが、その後もずっと自分で気になるネタが入ってきたら海外に取材に行ったり、東洋経済オンラインで今でも記事を書いたり、ラジオでパーソナリティをやったり、発信する仕事は続けております。

- ・いま、皆さんのテーブルに赤だったりシルバーの缶が置いてあると思いますが、クッキーなんです、

これが私の会社の商品です。Sweets Oblige by Asa & Lisaというお店をやっております。ヴィーガンのクッキーで始めたのですが、中を開けていただきますと、ニコちゃんマークのクッキーが入っていて、小さい紙にメッセージが英語でハッピーになるようなものが入っています。

今日は5種類のフレーバーをもってきております。合計60枚あるので、皆さん1種類ずつ召し上がっていただけたと思いますので、お隣のテーブルと交換したりして、違うお味も楽しんでいただけたらと思います。

・桑原リサの変遷

(キャリア編)

2004.10-----	2004.12-----	2006-----
新潟中越地震	初NY旅行	コロンビア大学 国際公共政策 大学院留学

2008-----	2008.9-----
コロンビア大学 同大学院卒業	日経CNBC経済番組 キャスター就任

2012.11-----	2013.4
Sweets Oblige 起業	NHK報道番組 キャスター就任

- ・新潟中越地震のとき、丁度TV報道のリポーターとして消防署の取材で行っていたのですが、レスキュー隊員たちが新潟の現場に行かなければいけないという場面に遭遇しまして、彼らを見ていると戦いに行く武士のようなすごい姿に見えて、メディアの人間である私はただ情報を伝えるだけというので非常に力の無さを感じてしまい、消防署員に「私、何が出来ますかね」というような話をしているとき「あなたにはできることなら現場に飛んでほしいくらいだ。なぜならメディアには伝えるという私たちにはできないことがあるから」と言っていたので、その時26歳くらいだったのかな、初めてわーっと神から言葉が下りてきたような感じで、自分の使命というものを感じて、この空気を世の中に伝えなくてはと思って目の前のポストイットに書きなぐったことを覚えています。その時、私にはそういうミッションがあるんだなということを感じた出来事でした。
- ・それから2ヵ月後の2004年12月に初めてニューヨークに旅行しました。

グランドゼロの写真を撮りに行きたいと観光気分だと思っていて、実際9.11が起きたときTVで映像を見ていて本当に対岸の火事にしか思っていなかった自分がいて、初めて行ったNYで私がグランドゼロに行きたいと言ったら、友人が「行くんだったら、お花を手向けてね」と言ってくれたんです。プラス、私がすごく感じたのは、「今りさが行ったら何か見え

るかもしれないよ」と言われ、私は靈感とかはないんですが、ちょっとドキッとしてしまって怖いなという印象もあったのですが、そこで私はグランドゼロに今行くべきではないと、自分が国際関係とか社会のことに對して、そんな大した思いもないのに写真を撮りに行こうとしているなんて、自分を恥ずかしく思い、そのときは行かずに近くにあるユダヤの博物館に行きました。ユダヤの歴史には非常に興味がありまして昔から本を読んでいたもので、どんな世界なんだろうと思いついて行ってみたら、それはそれは悲惨な焼いた髪の毛で作った石鹸とか迫害の歴史が目の前にあって、私はずっと日本で生まれ育っていて完全に平和ボケしていて、その姿を見たときに歴史を見たときに、あのなんでこんなに人は争うんだろうと思って、そのとき気持ち悪くなってきたんですね。

その時、杉原千畝さんというリトアニアの大使をされていた方で、ユダヤ人が虐殺されるというときに日本政府に反対されながらもユダヤ人3000人もに日本通過VISAを発行して国外に逃がしてあげるということをした方がいて、そこで夫婦の写真がユダヤの博物館の入口に飾ってあったんですね。それを見たときに、なんか同じ日本人が世界でこんなに人を助けているってことにすごく嬉しくなって、それまで自分自身が日本人であることのアイデンティティーとか一切感じたことがなかったんですが、このお二人の姿を見たときに同じ日本人でなんか嬉しいなって思ったのと、キャリアなんていつでも戻ってこれる、どうでもいいや、その代わり人間の幅を広げて人の役に立てる人間になりたいなって青臭いながらも思ってしまった瞬間でした。

で、NYの街を歩いていると、ゲイのカップルが手をつないで仲良くしてるんですね。美術館に行くとハグやキスをしながらのカップルがいて、私にもゲイの友人もいて偏見はないつもりだったんですが、目が釘付けになってしまうわけですよ。すごいな、この街は皆普通にいて、見向きもしなくて自然に溶け込んでいて、NYのこのエネルギーで私は人間の幅を広げたいなと感じてしまって、そのときもう27歳だったので大学院に行くことを決意して、1年間猛勉強して2006年にコロンビア大学の大学院国際公共政策学科に入りました。

そこから2年間死ぬほど勉強して、NYは国連の本部もありますので、国連の人たちと一緒に活動したりして、世界の不均等だとか社会課題について向き合った2年間でした。

- ・日本に戻って、2008年9月から、日経CNBC経済チャンネルのキャスターに就任することになりました。2008年9月はリーマンショックがそこから始まるので、私が現場に入った2週間後から画面にキャスターとしてでなければいけないというときで、何が起きているんだろうってとにかく株価が乱高下していて、私

は世界の貧困問題、マネーゲームの世界が目の前に広がっていて、「うわー、何だろう」って非常に複雑な思いでキャスターをやっていました。

2009年ころには日本でも社会起業家たちが増えてきました。私はある講演でプレゼンテーションの事業をさせていただく中でお客さんで来ていた方が社会起業家の方で名刺交換させていただいて、「私もこういう社会に貢献できる仕事がしたいんです。何かできることがあったらやらせてください。」というところから始まって、日経CNBCのキャスターは1年半くらいでやめたのですが、その後はずっと社会起業家たちと一緒に活動することになります。

小さなイベントをやったり、国連関係の司会の仕事をしたりとか、そんな中自分も何かやりたいななんて思いが湧いてきます。

なぜならメディアの人間というのは本当に誰かのやったこと・誰かの情報を伝えることしかできないので、自分で「何かちゃんと活動する」ということができていないなというコンプレックスもずっとありました。

そんなとき、オーガニックセラピストという資格の勉強をすることになるんですが、これはあるプロデューサーがある番組で企画したいけどいいかなと言われて「勉強しますね」と言ってインターネットで勉強したら、それはそれは深い世界で、その当時、2009年とか2010年ですけれども、モデルさんがおしゃれにオーガニックというそんな世界観でしか捉えてなかったんですが、本当に今でこそSDGsとか言われ注目が集まっていますけれども、環境に対する負荷ですとか体に対する負荷ですとか、本当に実はシリアスな問題で、メディアの人間としてそれを真面向から伝えるってなかなかできないんですよね。やっぱりスポンサーの問題とかあって、決して隠しているわけではないんですけども企業のプラスにならないことをあえて言う必要もなくということで、なかなか一般的なメディアでは伝えられないものなんだなということに気付いてそこから私はクッキーにつながるんですけども私にとっては情報に載せて皆さんに届けるようなそういうことができたかなということで、このクッキーに結び付くのです。

- Sweets Oblige by Asa & Lisa のAsaというのはパンフレットを見ていただくと嬉しいのですが、私のアメリカの大学院のときの親友で彼女はコロンビア大学で栄養学を勉強して今のNYにいますけれども、2人でハワイに旅行しているときに、1日デッキに寝転がって、何か社会にも良くて、美容にも健康にもいい何かやりたいよねと話をしている中で、お金もそんなにある方じゃないし、じゃオンラインで販売できるものにしようと言って、そこから賞味期限も長いクッキーに行きつくんですけども。簡単にできると思って実家に帰ったとき、母と一緒に作ってみ

した。

そしたらそれはそれはひどいクッキーが出来上がりました。母から大反対されて、「あなた大学院まで勉強してクッキー屋さん？」と言って、いきなりパティシエでも何でもない私が挑戦しようというのが無謀だと思ったようで、「世の中においしいお菓子屋さんがたくさんあるのに、あなたは何を考えているの?」と言われながら、わたしは半分意地になって「いや、おいしいものを作ってやる」と思って、理想だけを追求して添加物も絶対使わない熊本のオーガニックの小麦を使って体にいいものをと1年間1グラム単位で毎日毎日計測してNYとやりとりしながら本当に化学実験のように何百回もレシピを変えてできたのがそのクッキーなんです。さすがに1年位したら、母が「あら、美味しいのができたじゃない」と、そこから応援してくれるようにはなったんですが、そうやって生まれたのがそのクッキーです。細かいことはもう少し後でお見せしますけれども、そこから私は「社会事業家としてやってやるぞ」と起業家として今度はやっていこうと思っていた直後2012年11月に起業するんですがそこから2ヵ月後2013年1月にNHKからオーディションの話がきて、今右上に写真が出ていますが、NHKの報道番組をやっていた時のものですが、日曜日の夕方の相撲の後にやっている国際ニュース専門の結構真面目な番組で、イスラム国についてとか、国連についてとか、ほんとうに堅い番組だったんですけども、そのオーディションがあるということで、「でも私は報道番組向いていないと思うんですよね」と所属事務所に話したんですが、いきなりNHKの報道番組に受かることもないだろうから、とりあえず顔見せで行くか行ってみたらなぜか受かってしまい、そこから番組のキャスターをすることになるのですが、引き続きこのクッキーはずっと細々と今までも活動しているという流れになります。

- “カラダが喜ぶ、世界が喜ぶスイーツ”

スイーツ オブリージュ

Sweets Oblige by Asa & Lisa

コンセプトは、体も喜んで、世界のためにもなるスイーツです。「スイーツ オブリージュ」という名称がなかなか覚えづらい、私の廻りもやっと覚えてくれたという感じなんです。なぜこの名前にしたかというと、皆さんノブリスオブリージュ (noblesse oblige) という言葉をご存知でしょうか？ フランスで生まれた言葉・概念で、高貴な人たちは社会に還元する義務があるという意味ですが、私はその言葉がすごく好きで、世界から見ると私たちは圧倒的に恵まれていて、日本人に生まれている私たちは特に恵まれた環境で生きていて、高貴ではないけれどこんなに恵まれた環境で生きている私たちは少しでも社会に恩返しをすべきではないかという想いがありましてそこから取りました。おいしいものを食べておいしい気分

を味わって、おいしいスイーツを食べたら誰かに恵みを届けましょう、誰かにいいことをということです。

右側が、米国で登録して栄養士をしているAsaちゃん、左側がメディアで国際問題を発信するLisa私です。2人が生み出し、カラダと世界を考えるヴィーガンスイーツを届けます。

- food for thought
「思考の種になる食物」という意味で私たちが目指しているもの。
カラダ・環境・世界を変える力を持つ「食」
食を考え、食でアクションを起こしたい。
そんな思いから2012年スイーツオブリージュが誕生

カラダが喜ぶスイーツ

- 原料80%以上がオーガニック食材
- 牛乳・卵・バターなどの乳製品不使用で、ヴィーガンの方にも安心。
- 着色料・保存料・人工的な原材料の使用なし。
(ヴィーガンパンケーキミックスのみ膨張剤を使用)
- 遺伝子組み換えでない菜種から圧搾した一番搾りの菜種油を使用。

世界が喜ぶスイーツ

- 生産者と地球に優しいスイーツ
- オーガニックやフェアトレードの原材料を使うことで、自然環境や労働環境に優しい循環を目指します。

*フェアトレード

児童労働を禁じ、途上国の商品を公正な価格で継続的に輸入することで、途上国の貧困解消、経済的自立を促す取り組み

- 途上国の子どもたちへ贈り物を
• スイーツオブリージュは「ノブリスオブリージュ」(=受けた恵みを他者や社会に還元しましょう)というフランス発祥の概念に因んで名づけました。
• スイーツの販売毎に非営利団体に寄付を届け、世界の子どもたちに必要なものを届けます。
• このクッキーを手にとって食べながら、おいしいねと言ってもらいながら、こんな世界をサポートしている団体があるんだねーとか、話のタネになってもらえたらなとそういう意味で情報を届けるクッキーになりたいなと思ってこのクッキーを作りました。

• SWEETS OBLIGE AS MEDIA

- 1 食のこと
食を通じて社会と向き合う
- 2 社会課題のこと
社会課題と取り組んでこそ
- 3 消費のこと
消費者の力を信じてアクションを

とりとめの話になってしまいましたが、これが私がキャスターからスイーツショップを起業するきっかけとなったストーリーになります。

みなさん長い間お聞きくださって、本当にありがとうございました。

(要約文責 宮下)



栗原 均 様 (蓮田RC)	女性会員が多いのでどのような増強か? 教えてください!
野澤 亨 様 (銀座RC)	コロナで御無沙汰 10月3日心筋梗塞で緊急入院。全て止まっていたようですが、電気SHOCKを数回やってこの世に戻りました。本日試運転です。
富田 洋平 会長	本日、桑原りささんを卓話にお迎え出来て大変嬉しく思います。
石川 和子 会員	先週はお誕生日をお祝いいただきありがとうございました。
井関 和美 会員	今日は音楽プロデューサーでピアニストの永田ジョージさんをご紹介します。
太田 一彦 会員	今日も皆さんにお会い出来てニコニコです。
岡田 敏江 会員	先週はお誕生日をお祝いをありがとうございました。ニコニコします。
田中 結加 会員	画廊巡りおつかれさまでした。本日は会社のスタッフ参加します。
野呂 洋子 会員	無事に泰明小学校の画廊巡りが終わりました。ご協力いただきまして、有難うございました。
水野 珠貴 会員	初めてお友達をゲストとしてお招きしました。ニコニコします。
南 章乃 会員	ハイブリット例会が続くと嬉しいです。

ここにこ合計 32,000 円

クラブ週報
編集担当

宮下 文夫・山田 桂子・小堀 彰・
川口 恵・金子 健彦・諏訪 智美・
大石 由梨枝・白坂 亜紀